

食品安全委員会の 8 月の運営について（報告）

1．食品安全委員会の開催

第 106 回 8 月 4 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品「ツラスロマイシン」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価（魚介類に含まれるメチル水銀について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（佐賀県及び佐賀県嬉野町が構造改革特別区域法（平成 14 年法律第 189 号）に基づき提案した方法により養殖されるトラフグの肝について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（動物用医薬品「鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ・テネラ・マキシマ・ミチス）混合生ワクチン（パラコックス・5）」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣及び農林水産大臣に通知）
- ・「アカネ色素」等に関する研究状況について（中間報告）（厚生労働省からの報告）
- ・食品安全委員会の 7 月の運営について（報告）
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について報告（7 月分）

第 107 回 8 月 18 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（添加物 4 品目 「アルミノケイ酸ナトリウム」、「ケイ酸カルシウム」、「ケイ酸カルシウムアルミニウム」及び「ケイ酸マグネシウム」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（農薬「フェンヘキサミド」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価（添加物 2 品目 「2・エチル・3・メチルピラジン」及び「5・メチルキノキサリン」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知）
- ・食品健康影響評価（遺伝子組換え食品等 4 品目 「ワタ 281 系統」、「ワタ 3006 系統」、「除草剤グルホシネート耐性ワタ L L C o t t o n 25」及び「除草剤グリホサート耐性ワタ MON 88913 系統」について、意見募集の結果を踏まえて検討。及び について、同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知。及び について、同日付で食品健康影響評価の結果を農林水産大臣に通知）

- ・添加物専門調査会における審議状況について報告（「ブタノール」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・農薬専門調査会における審議状況について報告（「ピラクロストロビン」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・遺伝子組換え食品等専門調査会における審議状況について報告（「コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ B・t・Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7」及び「除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON88017 系統」に関する審議結果について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）

第108回 8月25日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品8品目 「マイコプラズマ・シノビエ凍結生ワクチン（MS生ワクチン（NB1））」、「ミロサマイシンを有効成分とする豚の注射剤（マイプラビン注100）」、「豚流行性下痢生ワクチン（日生研PED生ワクチン）」、「ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミシンS（静注用）」、「チルミコシンを有効成分とする製剤原料（チルミコシン）」牛の注射剤（ミコチル300注射液）」、「スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）」、「セファピリンベンザチンを有効成分とする製剤原料（セファピリンベンザチン「コーキン）」牛の乳房注入剤（KPドアイ-5G）及びセファピリンナトリウムを有効成分とする牛の乳房注入剤（KPラック-5G）」及び「塩化リゾチームを有効成分とするまだいの飼料添加剤（水産用ポトチーム）」に関する農林水産省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品「塩酸ジフロキサシン」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（小麦粉を主たる原材料とする冷凍パン生地様食品）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価の要請（コエンザイムQ10の安全性）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品安全モニターからの報告（7月分）について

2 専門調査会の運営

（1）リスクコミュニケーション専門調査会

第16回 8月1日（月）

- ・効果的なリスクコミュニケーションの推進を図るための手法について、高橋久仁子専門委員による講演（「食のリスクコミュニケーションとフードファディズム」）
- ・食品安全委員会における食育に関する取組について検討
- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告

第17回 8月31日(水)

- ・効果的なリスクコミュニケーションの推進を図るための手法について、近藤康子専門委員及び三牧国昭専門委員による講演(講演1「食品メーカーの食育とリスクコミュニケーションへの取組について(一企業を例に)」、講演2「外食産業における品質保証体制とリスクコミュニケーションについて(一企業を例に)」)
- ・三府省におけるリスクコミュニケーションに関する取組について報告

(2) 添加物専門調査会

第24回 8月30日(火)

- ・「ネオテーム」について検討

(3) 農薬専門調査会

第34回 8月3日(水)

- ・「ジコホール」について検討

第35回 8月31日(水)

- ・「シロマジン」及び「メタアルデヒド」について検討。

(4) 動物用医薬品専門調査会

第32回 8月29日(月)

- ・オフロキサシンを有効成分とする鶏の飲水添加剤(オキサリジン液)の再審査、豚流行性下痢生ワクチン(日生研PED生ワクチン)の再審査、塩化リゾチームを有効成分とするまだいの飼料添加剤(水産用ポトチーム)の再審査、ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤(動物用ホスミシンS(静注用))の再審査、チルミコシンを有効成分とする製剤原料(チルミコシン)、牛の注射剤(ミコチル300注射液)の再審査、スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤(動物用シノラル液)の再審査及びセファピリンベンザチンを有効成分とする製剤原料(セファピリンベンザチン「コーキン」)、牛の乳房注入剤(KPドライ-5G)及びセファピリンナトリウムを有効成分とする牛の乳房注入剤(KPラック-5G)について検討。
- 、及び に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第33回 8月29日(月)

- ・マイコプラズマ・シノビエ凍結生ワクチン(MS生ワクチン(NBI))について検討。本件に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 微生物専門調査会

第6回 8月3日(水)

第4回ウィルス専門調査会と合同で開催

- ・食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定について検討

(6) ウイルス専門調査会

第 4 回 8 月 3 日 (水) 第 6 回微生物専門調査会と合同で開催

- ・食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定について検討

(7) プリオン専門調査会

第 2 8 回 8 月 1 日 (月)

- ・米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について検討

第 2 9 回 8 月 2 4 日 (水)

- ・米国及びカナダから輸入される牛肉及び牛の内臓について検討

(8) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第 3 0 回 8 月 1 日 (月)

- ・ 「チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ B t 1 0 」、
「コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ B . t .
C r y 3 4 / 3 5 A b 1 E v e n t D A S - 5 9 1 2 2 - 7 」、 「除草剤グ
リホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ M O N 8 8 0 1 7 系
統」、 「除草剤グルホシネート耐性ワタ L L C o t t o n 2 5 」、 「除草剤グ
リホサート耐性ワタ M O N 8 8 9 1 3 系統」及び 「ラウンドアップ・レディ・
アルファルファ」 1 0 1 系統及びラウンドアップ・レディ・アルファルファ」 1
6 3 系統」について検討。 、 、 及び に関して食品安全委員会に報告する
ことを決定
- ・飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令の規定に基づく基準の設定につい
て検討

(9) 新開発食品専門調査会

第 2 6 回 8 月 1 7 日 (水)

- ・「燕龍茶レベルケア」について検討

3 . 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

8 月 3 日 (水) 食品に関するリスクコミュニケーション - 魚食と健康に関する意見
交換会 -

- ・食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省・北海道農政事務所の主催により、「魚
食と健康に関する意見交換会」を北海道にて開催し、農林水産省担当者より、「魚
食と健康 - 健康に悪影響を与える可能性のある物質について - 」のテーマで、ま
た、浅井学園大学副学長・北方圏学術情報センター長の羽田野氏より、「魚介類の

栄養・機能性について」のテーマで、それぞれ講演を行った。また、消費者代表、水産関係者代表等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

8月24日（水） 食品に関するリスクコミュニケーション（輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会：名古屋市）

- ・ 食品安全委員会、厚生労働省・東海北陸厚生局、農林水産省・東海農政局、愛知県、名古屋市の主催により、「輸入食品の安全確保及び残留農薬等のポジティブリスト制度の導入についての意見交換会」を愛知県にて開催し、厚生労働省より、「輸入食品の安全確保について」及び「残留農薬等のポジティブリスト制度の導入について」のテーマで、説明を行った。また、行政関係者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

8月26日（金） 食品に関するリスクコミュニケーション（食品の安全及び消費者の信頼の確保についての意見交換会）

- ・ 食品安全委員会、農林水産省・東北農政局、厚生労働省・東北厚生局の主催により、「食品の安全及び消費者の信頼の確保についての意見交換会」を宮城県にて開催し、農林水産省より、「食品の安全とリスクアナリシスの考え方について」のテーマで、また、丸大食品株式会社岩手工場品質管理室長の長谷部氏より、「食品事業者における食品の安全と消費者の信頼の確保への取組について」のテーマで、それぞれ講演を行った。また、消費者代表、食品関連事業者等をパネリストとするパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施。

8月26日（金） 食品安全フォーラムinとやま

- ・ 食品安全委員会、厚生労働省大阪検疫所、富山県の主催により、「食品安全フォーラムinとやま（食品のリスク評価及び輸入食品の安全確保についての意見交換会）」を富山県富山市にて開催。寺尾委員長代理から「食品のリスク評価～食品添加物を例として～」についての講演と厚生労働省大阪検疫所から「輸入食品の安全確保について（大阪検疫所における監視指導）」についての講演を行い、それぞれについて会場参加者との意見交換を実施。